

# 産学官連携 三次イノベーションだより

2019年7月発行

三次イノベーション会議  
(事務局：三次市産業環境部商工労働課)



三次イノベーション会議 会長  
三次市長

福岡 誠志

取り組んでいきます。

事業者のみなさんも、私たちと一緒にイノベーションを起こしましょう！

※イノベーションとは、物事の「新結合」「新機軸」「新しい切り口」「新しい捉え方」「新しい活用法」のこと。これまでのモノ・仕組みなどに対して全く新しい技術や考え方を取り入れて新たな価値を生み出して社会的に大きな変化を起こすこと。

## 会長あいさつ

三次イノベーション会議は、県立広島大学、三次市、三次商工会議所及び三次広域商工会が連携し、県立広島大学が有する知識や研究成果及び機能を活かし、市内事業者のビジネスチャンスにつながる意見交換の場を設けたり、事業者の新たな取組みや経営課題の解決に向けて県立広島大学とのマッチングを行ったり、本市の産業振興に貢献することをめざし活動しています。

また、これからは、地域資源を活かし新たな価値を創造するため、耕作放棄地などを活用し、漢方薬材や機能性植物など中山間地域の農業の活性化、振興につながる作物の新たな可能性について、県立広島大学と連携し

## 学長あいさつ



三次イノベーション会議 副会長  
県立広島大学 理事長・学長

中村 健一

三次イノベーション会議発足15年になりますが、三次市、そしてイノベーション会議の皆様には、平素より県立広島大学へ厚いご支援を頂き、心から御礼申し上げます。商品開発や農産物の成分分析、そして地元資源の活用方法等について地元企業の皆様と本学教員が、共に地域の課題に係わる研究を推進してまいりました。これからも産学官連携を通じて三次市の振興に尽力する所存ですのでどうか宜しく申し上げます。

ところで、本学が発足した当時、地域との窓口を担う部署の名称を「地域貢献センター」とするか、「地域連携センター」とするか、議論になりました。その中で「貢献」という呼称はおこがましく、地域と共に歩むという本学の趣意には沿わないということで「連携」としました。考えてみるに、学生は、地域との触れあい人間力が育てられています。また教員も地域からヒントを頂いていることによって、研究が進展することが多々あります。

このように本学は一方的に地域に何かをするだけではなく、地域から力添えも頂いております。「貢献」ではなく、まさしく「連携」です。新市長のもと、ますます「連携」を深めたいと考えております。

## 産学官連携推進支援事業 ～事業者と大学の共同研究を支援します～

### 平成 30 年度は 2 件の事業を採択!! !

市内事業者のニーズと県立広島大学の有する知識や研究機能をマッチングさせ、経営課題の解決や新技術の開発、新規事業の創出など取組を支援する「産学官連携推進支援事業」として、2 件の事業を採択しました。

#### ●事業テーマ

#### 『三次産ショウガを使った加工品の創出』 (農縁たねまき 福永丈也)

三次産のショウガの実や茎を使い、香り・辛味などの有効成分を活かした加工品の試作と、試作した加工食品の成分分析をする。ショウガの有効成分の濃縮方法がわからないため、3つの方法で試作を行う。①フリーズドライ ②減圧濃縮 ③蒸留による精油抽出

#### ●事業テーマ

#### 『「時代の変化に即応した持続可能な集客手段」の調査・分析・立案について』 (協同組合サングリーン)

中山間地域における中核的な商業施設として、従来の集客手段を見直し、時代に即応した集客手段を確立することで地域に愛され、親しまれ、地域に不可欠な商業施設をめざすとともに、地域貢献を通して地域経済の活性化を図ることを目的とし、新たな集客手法などを、県立広島大学が有する専門的、科学的な知見、技術、機能を活用した調査分析及び立案を委託する。

### 第 31 回「何でもサロン」開催報告

毎回違ったテーマにより、参加者の疑問や知りたい情報などを共有することで、ビジネスにつながるヒントを探る自由な意見交換の場です。

#### テーマ『雇用者側が考える女性が働きやすい職場』



平成 30 年 7 月 26 日 (木)、県立広島大学(生命環境学部生命科学科)村田和賀代准教授を囲み開催しました。村田准教授は、農村部での女性の活躍を研究されていたことがあり、「昔は長老支配で、子育て中の女性の権限はなく、また、夫の世代の意見も通らない状況だった。現在も昔に比べるとマシになった程度で、いまだに長老支配が続いている。女性の生きやすい社会は、男性も生きやすい社会のはずだ」と話題提供があり、その後、参加者との意見交換が行われました。

参加者からは、女性も男性も働きやすい職場になるように、子育て中の者同士で、お互いを理解しあい、仕事と子育ての両立に取り組んでいる事業所や、産体育休を取りやすい職場を目指している状況など、具体的な事例の紹介もありました。





## 「何でもサロン」のご案内

「何でもサロン」は、県立広島大学の先生方から旬のテーマで話題を提供していただき、参加者の疑問や知りたい情報などを共有することで、ビジネスにつながるヒントを探る、自由な意見交換の場です。

日頃疑問に思っていることや独自のアイデアをぶつけるチャンスです！  
少人数によるフリートーク形式で実施しますので、お気軽にご参加ください。

日 時： **8月28日（水）** 午後3：00～午後4：30

場 所：三次市役所6階605会議室

定 員：10人程度

参加料  
**無料**

テーマ

### 「体験から語る QR コード支払いの中国社会 ～市場から高級ホテルまで～」

話題提供者：地域連携センター准教授 かみずる **上水流 久彦氏**  
(社会人類学、東アジア文化論、地域振興論)

私は、4月に中国の大連に行き、初めて QR コードでの支払いをしてきました。中国では市場でも高級ホテルでも QR コードでの支払いが可能です。場合によっては、QR コードでの支払いしかできない店もありました。

現地体験から、そこまで普及している背景やメリット、デメリット、外国人から見た QR コード支払いの不安などを具体的に紹介したいと思います。QR コードによる支払いは日本社会でも普及しつつあり、今後どのような社会になるのか、日本よりも一歩先を行く中国社会から想像したいと思います。

〈お申し込み先〉 三次イノベーション会議事務局（三次市産業環境部商工労働課内）  
TEL：0824-62-6171 FAX：0824-64-0172  
E-mail：shoukou@city.miyoshi.hiroshima.jp



# 産学官連携推進支援事業 補助金のお知らせ

～県立広島大学との連携事業を応援します！～

三次イノベーション会議では、県立広島大学との連携による経営課題の解決、新製品開発、新規事業創出などを支援します。

大学と連携をお考えの事業者の方は、ぜひご利用ください！

## ●対象となる事業

- ・ 県立広島大学に依頼して行う、専門的・科学的な成分分析および効能の検証
- ・ 県立広島大学の有する研究成果等の実用化
- ・ 県立広島大学の助言などを受けて行う新製品・新技術開発

## ●対象者

市内の事業者

※ただし、過去に既にこの補助を受けている事業は除きます。

## ●補助金額

上限 20 万円（補助率 10 / 10）

## ●補助対象経費

旅費、謝金、共同研究費、委託研究費、事務経費、原材料費

## ●申請受付期間

令和元年 8 月 30 日（金） まで

※補助金の使途には、共同研究費または委託研究費を必ず含めてください。

※翌年度、三次イノベーション会議が開催する発表会で成果を発表していただきます。

〈お問い合わせ・申請先〉 三次イノベーション会議事務局（三次市産業環境部商工労働課内）

TEL：0824-62-6171 FAX：0824-64-0172

E-mail：shoukou@city.miyoshi.hiroshima.jp

## 産学官連携に関する相談、お問い合わせ

### 三次イノベーション会議

（事務局：三次市産業環境部商工労働課）

電話：0824-62-6171

FAX：0824-64-0172

電子メール：shoukou@city.miyoshi.hiroshima.jp

### 三次商工会議所

電話：0824-62-3125

FAX：0824-63-5200

電子メール：info@miyoshi-cci.or.jp

### 県立広島大学庄原地域連携センター

電話：0824-74-1704

FAX：0824-74-0191

電子メール：gakujutu@pu-hiroshima.ac.jp

### 三次広域商工会

電話：0824-44-3141

FAX：0824-44-3390

電子メール：miyoshi@hint.or.jp

### 三次イノベーション会議

産業界、大学及び行政の連携により、大学の有する研究成果、機能等を活用し、これまでのモノ、仕組みなどに全く新しい技術や考え方を取り入れ、新たな価値を生み出し、地域社会に貢献することをめざします。